

【アンケート項目について】

本年度は昨年度の結果と比較するために、昨年度と同じアンケート項目で実施しています。

お示したグラフは、保護者の方々に回答していただいた「そう思う」「だいたいそう思う」「あまりそう思わない」「全くそう思わない」「わからない（無記入を含む）」の5つの選択肢の割合を示したものです。グラフについて、「そう思う」「だいたいそう思う」をプラス評価、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」をマイナス評価として、まずアンケートの結果について見ていきます。

【保護者の集計結果より】

本年度も、多くの項目でプラス評価が80%以上になっています。プラス評価が80%未満の項目は、質問(1)の1項目です。

質問(1)に関しては、昨年度からFacebookを立ち上げ、学部通信、学級通信、連絡帳等を活用して子どもたちの様子をお伝えし、改善に取り組んできました。しかし、今年度も新型コロナウイルス感染症への対応の必要性から、参観日の機会は増えたもの子どもたちの近くでゆっくりと授業を参観する時間がとれなかったり、運動会や学校祭などの学校行事で他学部の取組を保護者の方々が参観したりする機会を設定できなかったりしたことも影響していると思います。来年度は、感染状況を考慮しながら可能な範囲で、PTAの行事も含め、参加や対話の機会をさらに拡充していきたいと思っています。

また、昨年と比較してマイナス評価が増えている項目は、質問(3)です。

質問(3)は、参観日や学部懇談を短い時間で行いましたので、普段の日常生活の指導や授業場面、販売の場面等の指導の意図を説明し、共通理解が十分に図れていないことが原因の一つと考えられます。また、個別最適化を目指してICTのさらなる取組の充実が必要だと考えています。来年度は、感染状況にもよりますが、懇談時間の確保にも努めたいと思っています。

質問(4)、質問(5)、質問(6)、質問(8)、質問(12)、質問(14)、質問(15)は、いずれもプラス評価が90%を越えています。子どもたち一人ひとりの学びを積み重ねる授業づくりや基本的な生活習慣の確立、マナーの指導等について、目標や指導方法を説明し、達成状況を丁寧にお伝えしていると評価していただいていると思います。また、子どもたちの変化についてこまめに情報を共有し、迅速に対応できていることは、保護者の皆様にもご協力いただいた成果だと思っています。良かった点については、引き続き努力していきたいと思っています。

【教職員の集計結果より】

教職員のアンケート集計結果からは、多くの項目でプラス評価が80%以上になっています。プラス評価が80%未満の項目は、質問(2)、質問(8)と質問(13)の3項目です。

質問(2)に関しては、不備な部分を順番に修繕していますが、改修工事が終了し、目に見える教育環境の劇的な整備がみられなかったことが影響していると思われます。

質問(8)と質問(13)に関しては、昨年度もはプラス評価が80%未満でした。各教員が日常的に相互に情報交換をしようとする姿勢は見られるものの、昨年度積極的に実施した他学部参観の機会の不足や時間的余裕のなさなども伺えますので、可能な改善に努めていきたいと思っています。地域や大学との連携については、教職員も、保護者の方々と同様、新型コロナウイルス感染症対応のために活動が制限された影響を感じているものだと思います。

その他の項目については、昨年度同じくらい高い評価になっています。本校の学校力、教育力を向上していくためには、引き続き、本校の取組を積極的な情報公開や情報発信が必要です。教職員が新しいことに積極的に取り組み、本校の本来の良さを発揮しやすい環境を整えていこうと思っています。